

2019年度 会 務 報 告 (案)

(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

月	運営委員会・常任幹事会	委員会	地域・職域等同窓会	同窓会・学校関連行事等
平成 31年 4月	10(水) 会計監査 13(土) 運営委員会 14(日) 常任幹事会	13(土) 榎友祭実行委員会 15(月) 総務委員会	24(水) 富士フィルム榎友会	1(月) 校史展示室等公開(新着任教職員) 5(金) 31年度入学式 9(火)、11(木) 校史展示室等公開 (新入生オリエンテーション) 13(土) 創立百二十周年記念事業実行委員会
令和 元年 5月		7(火) 総務委員会 11(土) 榎友祭実行委員会 ----- 12(日) 榎友祭(ホームカミングデー)・定期総会		----- 12(日) 校史展示室等公開(榎友祭対応)
	18(土) 運営委員会	25(土) 榎友祭実行委員会	18(土) 湯河原地区榎友会 24(金) 小田原市役所榎和会	18(土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会 25(土) 校史資料研究協議会(仮称)第2回準備会
6月	1(土) 運営委員会	6(木) 総務委員会 14(金) 広報委員会 15(土) 榎友祭実行委員会	5(水) 小田中・小田高東京会 7(金) 税理士榎友会	1(土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会 8(土)、9(日) 小田高祭 (展示、校史展示室等公開) 16(日) 第10回自然環境フォーラム
7月	6(土) 運営委員会	28(日) 資料委員会	7(日) 小田高運動部OB会 連絡会 10(水) 県庁小田高会	6(土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会 6(土) 校史展示室等公開(PTA実行委員会)
8月		7(水) 総務委員会		3(土) 校史展示室等公開(学校施設見学) 31(土) 創立百二十周年記念事業実行委員会 31(土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会
9月	7(土) 運営委員会	9(月) 総務委員会 28(土) 資料委員会		18(水) 榎の葉コンサート

10月	5 (土) 運営委員会	23 (水) 広報委員会 26 (土) 資料委員会 26 (土) 榿友祭実行委員会 28 (月) 総務委員会 30 (水) 広報委員会	19 (土) 横浜銀行小田中 ・小田高会 26 (土) 南足柄榿友会	6 (土) 創立百二十周年記念事業実行委員会 12 (土) 第14回青春かながわ校歌祭 (台風のため中止) 19 (土) 校史展示室等公開 (学校説明会) 26 (土) 校史展示室等公開 (高30同期会) 27 (日) 校史資料研究協議会 (仮称) 第3回準備会
11月	9 (土) 運営委員会	5 (水) 広報委員会 9 (土) 榿友祭実行委員会 11 (月) 総務委員会 11 (月) 広報委員会 16 (土) 広報委員会	27 (水) 松田榿友会	9 (土) 創立百二十周年記念事業実行委員会 9 (土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会 16 (土) 校史展示室等公開 (PTA講演会) 23 (金) 榿友ウォーク
12月	14 (土) 運営委員会	3 (火) 総務委員会 10 (火) 会報「八幡山」第31号発行 14 (土) 榿友祭実行委員会		7 (土) 校史展示室等公開 (学校説明会) 14 (土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会
2年 1月	11 (土) 運営委員会	11 (土) 榿友祭実行委員会 19 (日) 資料委員会		11 (土) 創立百二十周年記念事業実行委員会 11 (土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会
2月	1 (土) 運営委員会	5 (水) 総務委員会 8 (土) 榿友祭実行委員会 15 (土) 役員候補者選定委員会		1 (土) 創立百二十周年記念事業実行委員会 1 (土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会 8 (土) 校史展示室等公開 (高31・3年6組)
3月	14 (土) 運営委員会	14 (土) 榿友祭実行委員会 14 (月) 総務委員会		6 (金) 元年度同窓会入会式 (第72回) 7 (土) 元年度卒業式 14 (土) 創立百二十周年記念事業実行委員会 14 (土) 「がんばれ!小田高」応援基金運営委員会

2019年度小田原高等学校同窓会樫友会 事業報告（案）

1 活動目標

2019年度の活動目標として掲げた項目及びその結果は次のとおりである。

(1) 同窓会事業への会員参加の促進

「親睦事業・会費検討会」の答申を受け、新たに取り組みを始めた各種事業の一層の充実を図るとともに、継続事業を確実に推進し、会員の参加を呼び掛けた。

(2) 小田高創立百二十周年記念事業の実施準備

2020年に母校が創立百二十周年を迎えることから、学校、PTA、同窓会の3者で実行委員会を組織し、記念事業、記念史編集、記念事業の実施に向けた準備及び作業を進めた。

2 委員会の活動

(1) 総務委員会

ア 平成31年4月新入生に入学記念品（小田高歌集CD）を配布した。

イ 令和元年5月樫友祭において、「活躍する同窓生」展示、紹介冊子の配布を行うとともに、クリアファイル等のオリジナルグッズを販売した。

ウ 同期会結成補助金を高30同期会に交付した。

エ 令和2年3月卒業生（高72回）の同窓会入会案内パンフレットを作成し、配布した。

オ 令和2年3月卒業生（高72回）に卒業記念品を贈呈した。

カ 会員名簿情報（住所変更、物故者、新会員登録、教職員異動など）を随時更新した。

キ 会員管理ソフト「幹事長」のデータを更新し、同期会への住所情報支援等に活用した。

(2) 交流委員会

ア 令和元年度樫友祭（小田高ホームカミングデー）を実施した。

- ・ 実行委員会を組織・運営し、令和元年5月12日（日）に開催した。
- ・ 高21同期会が企画した八幡山トーク「見ることの悦楽～老いの途上で～」と八幡山コンサート「ジャズンベーよ」がメイン企画。
- ・ 「活躍する同窓生パネル展」や「小田高放送部制作作品放映」も実施。
- ・ キャンパスツアーのガイド役や視聴覚室での録音・録画作業に現役生徒の協力をいただいた。
- ・ 約600名の来場者があった。

イ 会員の親睦を深める下記交流事業を実施した。

- ・ 「第10回自然環境フォーラム」
令和元年6月16日（日） 小田原高校視聴覚室 来場者177名。
- ・ 「樫友ウォーク」

第7回 令和元年11月23日(祝)参加者19名 酒匂川の治水の歴史をたどり、最後に水の恵みを味わう。

第8回 令和2年3月20日(祝)参加者20名 大磯ゆかりの宰相邸宅を巡る予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

ウ 現役生徒を応援する下記交流事業を実施した。

- ・ 小田高音楽科が企画する「樫の葉コンサート」を支援した。

第12回 令和元年9月18日(水)12:20~12:50 小田原高校視聴覚室ホームページでの告知と出演料補助、記録CDの作成を行った。

第13回を令和2年3月18日(水)に予定したが、新型コロナウイルス感染症予防のため学校が休校となり中止した。

エ 令和2年度樫友祭(小田高ホームカミングデー)の企画、準備を進めた。

(3) 広報委員会

ア 会報「八幡山」31号を12月に発行し、会報が届いていない会員のために、会員通信や個人情報の係るものを除き、同窓会ホームページに掲載した。また、会報「八幡山」31号への3件の広告を掲載し、同窓会の財源確保に努めた。

イ リニューアルした同窓会ホームページの周知を図り、同窓会活動の周知、参加呼び掛けの手段として活用した。

ウ ホームページを会員及び会員相互の情報発信の場としての利用をより一層促進した。

エ 樫友祭の開催を多くの会員に告知することを目的に、樫友祭フェイスブックページを開設し、樫友会のホームページと合わせ、広報の充実を図った。

オ 同窓会フェイスブックの開設に向けた検討を進めた。

(4) 資料委員会

ア 校史展示室・教材展示室の公開

企画展「旧制小田原中学をめぐる文学者たち～校友会誌『相洋』を読む～」を開催し、新着任教職員、新入生オリエンテーション、樫友祭、小田高祭、PTA実行委員会、学校説明会、PTA講演会等で公開した。

イ 図書展示室の開設

貴重書用のガラス製展示ケースを設置し、樫友祭より図書展示室を開設した。

ウ 教材展示室の整備

史料を紫外線から保護するため、蛍光灯をLEDに取り換えた。

エ 「昭和のスポーツレガシー展」への協力

タウンニュースに「郷土のいだてん」連載記事を5回寄稿し、写真パネル等を作成して、「昭和のスポーツレガシー展」(松田町、甲府市)に協力した。

オ 生物標本群の管理・活用

生物教材室の防虫剤を取り換えた。

オ 校史資料研究協議会(仮称)改編への取り組み

県立公文書館を訪問し、校史資料の廃棄防止・校内保存について話し合った。校史資料研究協議会へ改編するため、第2回準備会を本校で開催し、第3回準備会へ出席した。新たに平塚江南高校同窓会と鶴見高校同窓会鶴陵会が加入し、6

校同窓会からなる組織となった。

(5) 校歌祭委員会

第14回青春かながわ校歌祭は、10月12日（土）に28同窓会が参加して開催が計画され、榎友会員51名、教職員・在校生42名の計93名が参加の予定であった。しかし、台風19号が関東地方上陸の事態のため、中止となった。

3 その他

(1) 小田高祭への参加

令和元年6月8日（土）、9日（日）の両日、下記の事業を実施した。

ア 校史展示室・教材展示室の公開

両日とも11:00～16:00に公開した。

イ 一般教室に「同窓会コーナー」を開設

1階3年2組の教室で両日とも10:00～16:00に下記内容を実施した。

- ・ 「活躍する同窓生」のパネル展示
- ・ 「小田高百年の歩み」と「榎友祭の記録」のDVD再生

(2) 女性の役員登用について、各種役員に女性が参加するように呼びかけてきたところ、委員会等に徐々に増えつつある。

(3) 事務局員の複数化に向けた取り組みを進めた。

神奈川県立小田原高等学校同窓会

一般会計決算書

自：平成31年4月1日

至：令和2年3月31日

(単位：円)

項・目	当初予算額(A)	決算額(B)	増減額(B-A)	説明
前期繰越資金(ア)	1,166,360	1,166,360	0	前年度からの繰越
収入の部				
1 入会金	1,575,000	1,570,000	△5,000	
1 新卒者入会金	1,570,000	1,570,000	0	同窓会入会金314名
2 中途者入会金	5,000	0	△5,000	
2 会費	5,784,000	5,891,000	107,000	
1 年会費	4,005,000	4,073,000	68,000	年会費1,357名
2 終身会費	1,779,000	1,818,000	39,000	終身会費606名分
3 寄付金	10,000	95,000	85,000	寄付金7件
4 負担金収入	40,000	0	△40,000	
5 広告料等収入	700,000	530,000	△170,000	樗友祭お祝金等27件
6 雑収入	13,640	113,149	99,509	記念史等販売代、校歌祭返還金
7 繰入金	400,000	100,000	△300,000	記念事業会計取崩収入
収入計(イ)	8,522,640	8,299,149	△223,491	
合計(ア)+(イ)	9,689,000	9,465,509	△223,491	

項・目	当初予算額(A)	決算額(B)	増減額(A-B)	説明
支出の部				
1 事務費	1,132,000	928,168	203,832	
1 事務局費	390,000	330,914	59,086	事務局経費
2 事務局会議費	150,000	128,065	21,935	運営委員会等経費
3 常任幹事会費	180,000	131,670	48,330	常任幹事会経費
4 校内幹事費	10,000	0	10,000	
5 会員連絡費	20,000	5,679	14,321	会員連絡経費
6 渉外費	80,000	71,776	8,224	慶弔費、慰労金
7 消耗備品費	90,000	55,296	34,704	事務用消耗品代
8 雑費(振込手数料)	212,000	204,768	7,232	会費等納入手数料
2 事業費	7,257,000	5,936,999	1,320,001	
1 樗友祭・総会費	800,000	791,063	8,937	樗友祭、総会経費
2 入会記念品費	478,000	371,440	106,560	同窓会入会記念品代
3 総務委員会費	300,000	115,268	184,732	総務委員会経費
4 交流委員会費	220,000	114,770	105,230	交流委員会経費、交流事業経費
5 広報委員会費	70,000	32,806	37,194	広報委員会経費
6 資料委員会費	60,000	59,387	613	資料委員会経費
7 校歌祭委員会費	500,000	146,203	353,797	校歌祭開催準備経費
8 会報発行費	3,539,000	3,473,628	65,372	同窓会報31号印刷、発送代
9 広報費	270,000	248,738	21,262	同窓会ホームページ管理費
10 地域職域同窓会費	270,000	188,000	82,000	地域職域同窓会参加費
11 同期会結成補助費	150,000	100,000	50,000	同期会結成費補助金
12 校史展示室費	200,000	195,696	4,304	校史展示室経費
13 120周年記念事業費	400,000	100,000	300,000	
3 教育費	600,000	288,220	311,780	
1 教育活動費	460,000	205,000	255,000	運動部等大会参加激励金
2 学校援助費	140,000	83,220	56,780	調律代、学校支援補助金
4 積立金	400,000	400,000	0	
1 記念事業積立金	400,000	400,000	0	記念事業積立金
5 予備費	300,000	0	300,000	
1 予備費	300,000	0	300,000	
支出計(ウ)	9,689,000	7,553,387	2,135,613	
当期収支差額(エ)=(イ)-(ウ)	-	745,762	-	

次期繰越資金(オ)=(ア)+(エ)	1,912,122	-	
合計(ウ)+(オ)	9,465,509	-	

前期繰越資金(ア)	収入計(イ)	支出計(ウ)	次期繰越資金(オ)
1,166,360	8,299,149	7,553,387	1,912,122

上記について、領収書、帳簿、通帳を監査しましたところ、正確であることを認めます。

令和2年4月15日

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 室伏 創之 ㊞

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 田村 佳江 ㊞

神奈川県立小田原高等学校同窓会
財産台帳

自：平成31年4月1日

至：令和2年3月31日

【基本金・積立金】

(単位：円)

資産の種類	預貯金名	期首残高	増減額	期末残高
1 基本金	横浜銀行 積立定期預金	11,529,914	976	11,530,890
	さがみ信用金庫 積立定期預金	13,443,868	1,139	13,445,007
2 記念事業積立金	横浜銀行 積立定期預金	2,790,718	300,225	3,090,943
合 計		27,764,500	302,340	28,066,840
増減額の内訳	増の内訳	・預金利息 2,340 ・記念事業積立金の積み増し 400,000		
	減の内訳	・記念事業積立金の取り崩し △100,000		

【保管金】

(単位：円)

資産の種類	預貯金名等	期首残高	期末残高	
3 保管金	横浜銀行口座	入会金	1,570,000	1,595,000
		年会費	1,643,853	1,699,800
		その他	245,000	230,000
		計	3,458,853	3,524,800
	郵便局振替口座	年会費	1,512,850	1,473,921
		終身会費	10,306,010	10,386,474
		その他	3,870	0
		計	11,822,730	11,860,395
	ゆうちょ銀行口座	—	1,100,667	1,848,976
	小口資金(現金)	—	65,693	63,146
合 計		16,447,943	17,297,317	
残高の内訳	前期前受金	15,281,583	当期前受金 15,385,195	
	一般会計前期繰越資金	1,166,360	一般会計次期繰越資金 1,912,122	

【基本金・積立金・保管金】

(単位：円)

合 計	44,212,443	45,364,157
-----	------------	------------

注) 一般会計では、現金預金から次年度前受分を差し引いた金額を「資金」として取り扱っている。

上記について、預貯金通帳、証書等を監査しましたところ、正確であることを認めます。

令和2年4月15日

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 室伏 創之 ㊞

神奈川県立小田原高等学校同窓会 会計監査 田村 佳江 ㊞

令和2年度小田原高等学校同窓会樫友会 事業計画（案）

1 活動目標

(1) 同窓会事業への会員参加の促進

「親睦事業・会費検討会」の答申を受け、新たに取り組みを始めた各種事業の一層の充実を図るとともに、継続事業を確実に推進し、会員の参加を呼び掛けて行く。

(2) 小田高創立百二十周年記念事業の実施準備

本年に母校が創立百二十周年を迎えることから、学校、PTA、同窓会の3者で実行委員会を組織し、3者が協力して、記念式典や各種記念事業の準備と着実な実施に向けて取り組む。

2 委員会の活動

(1) 総務委員会

ア 令和2年4月新生に入学記念品（小田高歌集CD）を配布する。

イ 令和2年5月樫友祭において、「活躍する同窓生」（経済界編）展示を実施する。

ウ 令和3年3月卒業生（高73回）の同窓会入会用パンフレットを配布する。

エ 令和3年3月卒業生（高73回）に卒業記念品を贈呈する。

オ 同期会を結成した卒回に対し、同期会結成補助金を交付する。

カ 会員名簿情報（住所変更、物故者、新会員登録、教職員異動など）を随時更新する。

キ 会員管理ソフト「幹事長」のデータを更新し、同期会への住所情報支援等の利便性の継続を図る。

(2) 交流委員会

ア 令和2年度樫友祭（小田高ホームカミングデー）の実施

- ・ 実行委員会を組織・運営し、「小田高創立百二十周年記念樫友祭（小田高ホームカミングデー）」として、令和2年5月10日（日）に開催することを予定し、準備を進めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期し、年度内の開催を別途決定する。

イ 会員の親睦を深める交流事業の実施

- ・ 「第11回自然環境フォーラム」を令和2年6月16日（日）に小田原高校視聴覚室で開催することを予定して準備を進めたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期し、年度内にこだわらずに適切な開催日を別途決定する。
- ・ 「樫友ウオーク」
 - 第8回 令和2年9月20日（日）
 - 第9回 令和3年3月の土曜日
- ・ 加藤のぞみメゾソプラノコンサート（仮称）
 - 令和2年9月27日（日）に小田原高校視聴覚室で加藤のぞみさん（高57）のコンサートを開催する。

- ウ 現役生徒を応援する下記交流事業を実施する。
小田高音楽科が企画する「樫の葉コンサート」を支援する。
助演同窓生出演料補助、記録CD作成を行う。
- エ 令和3年度樫友祭（小田高ホームカミングデー）の企画、準備を進める。

(3) 広報委員会

- ア 会報「八幡山」32号を令和2年12月に発行する。掲載内容は概ねこれまでの会報に準ずる。また、広告掲載の状況を見ながら、会員の情報発信と交流の場に相応しい掲載内容の充実を図る。
- イ リニューアルした同窓会ホームページの周知を図るとともに、同窓会活動の周知、参加呼びかけの手段としての活用や、会員及び会員相互の情報発信の場としての利用を一層促進する。
- ウ 同窓会活動をより多くの方々に告知する目的で、樫友会フェイスブックページを作成し、すでに作成している樫友祭フェイスブックとの統合を図る。

(4) 史料委員会

- ア 「小田原高校中等教育史料館」命名と「史料委員会」への改称
創立百二十周年を記念して、校史展示室、教材展示室、図書展示室を有機的な複合施設として「小田原高校中等教育史料館」と命名する。また資料委員会を「史料委員会」へ改称する。（改称は、規約改正の承認を得る。）
- イ 小田原高校中等教育史料館の公開
新型コロナウイルス感染拡大のため、企画展は昨年度の「旧制小田原中学をめぐる文学者たち～校友会誌『相洋』を読む～」を継続する。
学校と連絡を密にとり、新着任教職員オリエンテーション、新入生オリエンテーション、樫友祭、小田高祭、PTA実行委員会、学校説明会、PTA講演会等で公開する。保護者の来場を増加させるため、PTAと連携を図る。
- ウ 蛍光灯のLED化
蛍光灯の紫外線から展示品を保護するため、校史展示室の校宝と通史の展示ケース、図書展示室、教材展示室・図書展示室前の廊下のLED化を進める。
- エ 教材展示室・図書展示室前の画廊整備
廊下の壁面を活用し、保存されている善浪迪先生や湯川治郎先生の絵画等を展示するため、学校と相談し、ピクチャーレール、ピクチャーワイヤー、遮光カーテンを設置する。
- オ 生物標本群の管理・活用
生物教材室にある絶滅危惧種約50点のうち、約10点をクリーニング・補修し、キャプションを表示する。
- カ 校史資料研究協議会（仮称）
第4回準備会（牧陵会）で規約を制定し、「校史資料研究協議会」へ改編する。

(5) 校歌祭委員会

- ア 第15回青春かながわ校歌祭は、10月10日（土）よこすか芸術劇場で、追浜高等学校うしお会会長が実行委員長となり開催される。

イ 校歌祭委員会は参加に向けて準備を進め、学校側の協力もお願いして教職員・在校生そして榎友会員と合わせ 100 名を超える出演者を目指す。

ウ 演奏後の開催地近くの名所・旧跡等の見学会等は、本年も企画する。

3 その他

(1) 小田高祭への参加

令和 2 年 6 月 6 日(土)、7 日(日)の両日、下記を実施する。(実施時期は、予定)

- ・ 小田原高校中等教育史料館の公開
- ・ 一般教室に「同窓会コーナー」を設置し、榎友祭で実施する「活躍する同窓生」のパネル展示他を行う。

(2) 各種役員に多くの女性が参加するように、引き続き呼びかけを行う。

(3) 事務局員の複数化に向けた取り組みを引き続き進める。

令和2年度一般会計予算(案)

(単位:円)

項・目	令和2年度予算額	2019年度予算額	摘 要
前期繰越資金	1,912,122	1,166,360	前年度からの繰越金
収入の部			
1 入会金	1,600,000	1,575,000	
1 新卒者入会金	1,595,000	1,570,000	高校72回卒入会金(319名)
2 中途入会者	5,000	5,000	中途入会者(1名)
2 会費	5,808,000	5,784,000	
1 年会費	3,780,000	4,005,000	年会費(1260名)
2 終身会費	2,028,000	1,779,000	終身会費(676名分)
3 寄付金	120,000	10,000	寄付金
4 負担金収入	40,000	40,000	校歌祭参加負担金
5 広告料等収入	500,000	700,000	檀友祭祝金、会報広告掲載料
6 雑収入	12,878	13,640	記念史等販売代、利息
7 繰入金	2,400,000	400,000	記念事業積立金取崩収入
合 計	12,393,000	9,689,000	
支出の部			
1 事務費	1,140,000	1,132,000	
1 事務局費	390,000	390,000	事務局運営経費
2 事務局会議費	150,000	150,000	月例運営委員会等開催経費
3 常任幹事会費	180,000	180,000	常任幹事会開催経費
4 校内幹事費	10,000	10,000	校内幹事会開催経費
5 会員連絡費	20,000	20,000	会員連絡経費
6 渉外費	80,000	80,000	慶弔費
7 消耗備品費	90,000	90,000	事務用品代、消耗品代
8 雑費(振込手数料)	220,000	212,000	年会費等振込手数料
2 事業費	9,453,000	7,257,000	
1 檀友祭・総会費	800,000	800,000	檀友祭、総会開催経費
2 入会記念品費	400,000	478,000	入会記念品代
3 総務委員会費	253,000	300,000	総務関係経費
4 交流委員会費	320,000	220,000	交流事業開催経費
5 広報委員会費	70,000	70,000	会報編集等経費
6 史料委員会費	70,000	60,000	企画展等経費
7 校歌祭委員会費	500,000	500,000	校歌祭参加経費
8 会報発行費	3,650,000	3,539,000	会報印刷・発送経費
9 広報費	270,000	270,000	ホームページ管理費
10 地域職域同窓会費	270,000	270,000	地域職域同窓会参加経費
11 同期会結成補助費	150,000	150,000	同期会結成補助金
12 中等教育史料館費	300,000	200,000	中等教育史料館管理運営経費
13 百二十周年記念事業費	2,400,000	400,000	記念事業実行委員会分担金
3 教育費	600,000	600,000	
1 教育活動費	520,000	460,000	運動部等激励金、教育活動支援費
2 学校援助費	80,000	140,000	ピアノ調律代、小田高祭協賛金
4 積立金	900,000	400,000	
1 記念事業積立金	200,000	400,000	記念事業積立金
2 予算調整積立金	700,000	0	予算調整積立金
5 予備費	300,000	300,000	
1 予備費	300,000	300,000	予備費
合 計	12,393,000	9,689,000	

※ 「4 積立金」に、「2 予算調整積立金」の項目を新たに設定しました。

同窓会規約等の一部改正（案）について

1 同窓会規約の一部改正

(1) 改正の内容

同窓会規約第 18 条第 1 項第 4 号に規定されている「資料委員会」の名称を、「史料委員会」に改正する。

(2) 改正の理由

「資料」には「研究・調査の基礎となる材料」（大辞泉）という幅広い意味があるのに対し、「史料」は「歴史研究の材料となる文献や遺物などの総称」（大辞泉）とされている。

「資料委員会」では、これまで小田高の校史資料を扱ってきており、特に、第二中学校・小田中の校史資料は、神奈川県近代中等教育史料としての意味を持つもので、そうした史料を扱ってきていることから、委員会の名称を「史料委員会」に改正するものである。

2 同窓会委員会規程のうち、別紙部分の一部改正

(1) 改正の内容

同窓会規約の改正に伴い、同窓会委員会規程に規定されている「委員会の所掌事項」のうち、資料委員会の名称及びその所掌事項を改正する。

併せて、各委員会の所掌事項のうち、ホームカミングデーに関する部分を改正する。

(2) 改正の理由

同窓会規約の改正の理由にあるように、「資料委員会」の所掌事項とされる資料等の内容が、歴史研究に関する文献等を扱っていることから、委員会の名称の改正に合わせて改正するものである。

また、資料委員会の改正に合わせ、各委員会のホームカミングデーに関する部分を改正するものである。

※ 本改正に係る「新旧対照表」は、裏面のとおりです。

同窓会規約等の一部改正の新旧対照表

1 同窓会規約の改正

改正後	改正前
(委員会) 第18条 本会に次の委員会を置く。 (1)～(3) (略) (4) <u>史料</u> 委員会 (5) (略)	(委員会) 第18条 本会に次の委員会を置く。 (1)～(3) (略) (4) <u>資料</u> 委員会 (5) (略)

2 同窓会委員会規程の改正

改正後	改正前
同窓会委員会規程「別紙」中の 総務委員会 2 <u>樗友祭 (ホームカミングデー)</u> の開催の検討、運営に関すること。 交流委員会 2 <u>樗友祭 (ホームカミングデー)</u> の開催の検討、運営に関すること。 広報委員会 3 <u>樗友祭 (ホームカミングデー)</u> の開催の検討、運営に関すること。 史料委員会 1 校史資料の収集、整理、保存、展示等に関すること。 2 <u>史料</u> の受け入れ(寄贈、寄託、借用)に関すること。 3 <u>史料</u> の利用(閲覧、複写・撮影、特別利用)に関すること。 4 <u>中等教育史料館</u> の公開に関すること。 5 <u>樗友祭 (ホームカミングデー)</u> の開催の検討、運営に関すること。 6 <u>史料と史料館</u> の広報に関すること。 7 その他母校と会の <u>史料</u> 全般に関すること。	同窓会委員会規程「別紙」中の 総務委員会 2 <u>ホームカミングデー</u> の開催の検討、運営に関すること。 交流委員会 2 <u>ホームカミングデー</u> の開催の検討、運営に関すること。 広報委員会 3 <u>ホームカミングデー</u> の開催の検討、運営に関すること。 資料委員会 1 校史資料の収集、整理、保存、展示等に関すること。 2 <u>資料</u> の受け入れ(寄贈、寄託、借用)に関すること。 3 <u>資料</u> の利用(閲覧、複写・撮影、特別利用)に関すること。 4 <u>校史展示室</u> の公開に関すること。 5 <u>ホームカミングデー</u> の開催の検討、運営に関すること。 6 <u>資料と展示室</u> の広報に関すること。 7 その他母校と会の <u>資料</u> 全般に関すること。

※ 改正部分を下線で示しています。

令和1年度「『がんばれ！小田高』 応援基金」会計報告

自 平成31年4月 1日

至 令和 2年3月31日

収入の部（円）

項目	金額	備考
繰越金	2,710,117	
寄付（個人）	368,000	84名
寄付（団体）	128,334	3団体
横浜銀行預金利子	22	
計	3,206,473	

支出の部（円）

項目	件数	金額	備考
進路指導・進学研究	0	0	
勉強合宿・勉強会	0	0	
理科教育	0	0	
学校説明会	1	107,400	クリアファイル代
部活動	0	0	
運営費	42	46,487	礼状用はがき及び切手購入 払込用紙印刷代 郵便振替払い込み料金
その他	0	0	
計	43	153,887	

差引の部（円）	3,206,473	－	153,887	=	3,052,586
---------	-----------	---	---------	---	-----------

運営委員会メンバー（令和2年3月31日現在）

委員長	津田憲一郎	同窓会会長
副委員長	野地 哲弥	PTA会長
	國分 尚	同窓会副会長
	関野 純一	同窓会副会長
	吉川 伸治	同窓会副会長
	本多 高弘	同窓会副会長
会計	山本 妙子	同窓会副会長
書記	石原 稔	PTA副会長
書記	二宮 ルミ	PTA副会長
書記	小林 靖児	PTA副会長

同窓会規約（抜粋）

（総会）

第 14 条 総会は、年 1 回定期的に開催するものとする。ただし、必要に応じて臨時に開催することができる。

2 総会は、常任幹事会の議を経て会長が招集し、次の事項を審議・決定する。

- (1) 事業報告及び収支決算に関すること。
- (2) 事業計画及び収支予算に関すること。
- (3) 会長、副会長、会計及び会計監査の選任及び解任に関すること。
- (4) 規約の改廃に関すること。
- (5) その他本会の運営上必要と認める重要事項に関すること。

3 総会は、前項に掲げる事項の審議・決定を常任委員会に付託することができる。

（委任）

第 24 条 本規約に定めるもののほか、本会の運営に関し必要な事項は、会長が常任幹事会に諮って決める。

常任幹事会への付託事項について

同窓会規約第 14 条第 3 校の規定に基づき、総会の審議・決定事項のうち常任幹事会に付託する事項は、次に掲げる事項とする。

- 1 事業報告及び収支決算に関すること。
- 2 事業計画及び収支予算に関すること。